

第4章

活力とにぎわい あふれる 六戸



1. 農林業

現状と課題

わが国では、令和元年度に、食料・農業・農村に関する5回目の基本計画となる食料・農業・農村基本計画を策定し、令和12年度の食料自給率を45%と設定し、農業や食品産業の成長産業化を促進する「産業政策」と、多面的機能の維持・発揮を促進する「地域政策」を引き続き車の両輪として推進することとしています。

本町は、高度な営農技術と経営体制の確立のもと、特色ある農業のまちとして発展し、現在、稲作や畜産のほか、ニンニク、ナガイモ、ゴボウをはじめとする根菜類を中心とした多品目の野菜づくりが盛んに行われています。

本町ではこれまで、関係機関・団体と連携し、農道や用排水施設などの農業生産基盤の整備や担い手の育成、道の駅「ろくのへ」における農産物販売体制の充実をはじめ、農業の振興に向けた各種の支援施策を積極的に推進してきました。

しかし、農業情勢は依然として非常に厳しく、高齢化や後継者不足とも相まって、離農農家や規模縮小農家の増加、これらに伴う耕作放棄地の増加といった問題が深刻化してきています。

このため、今後は、農業者、関係機関・団体、行政等が共通の認識と目標のもとに連携を一層強化し、農業生産基盤の一層の充実を進めながら、意欲ある多様な担い手の育成・確保を図り、持続可能な経営体制の整備を進めるとともに、生産性の向上や一層のブランド化、加工食品の開発、食の安全・安心と環境に配慮した農業や地産地消の促進など、多面的な支援施策を一体的に推進していく必要があります。

一方、森林は、木材等の生産機能をはじめ、水源のかん養や山地災害の防止、生活環境の保全などの多面的な機能を持ち、人々の生活と深く結びついています。

本町の森林は、総面積の約3割を占め、すべてが民有林となっています。本町では、森林整備計画において森林の有する機能を「木材等生産機能」、「水源かん養機能」、「山地災害防止機能／土壤保全機能」、「快適環境形成機能」、「保健・レクリエーション機能」、「文化機能」、「生物多様性保全機能」に分類し、適正な森林施業の実施や森林の保全を促していますが、今後とも、森林所有者の合意形成のもと、森林環境譲与税等を活用しながら適正な森林整備を促進し、健全な森林資源の維持・形成を進めていく必要があります。

主要施策

① 農業生産基盤の充実

- ① 土地条件の一層の向上に向け、関係機関との連携による基盤整備事業を行い、農地や農道、用排水施設の整備・改修を進めます。
- ② 連作障害や土壤障害の防止に向け、関係機関との連携による土づくり事業の普及を図り、健康な土づくりを促進します。
- ③ 耕作放棄地の発生防止と解消に向け、関係機関と連携し、調査や指導等を進めます。

② 担い手及び新規就農者の育成・確保

- ① 農地中間管理機構^{※15}の活用等による農地の集積の促進や経営指導の強化等により、明日の六戸農業を支える認定農業者や生産組織の育成を図るとともに、農業経営の法人化を促進します。
- ② 研修機会の提供や子どものときからの農業体験活動の促進等により、農業後継者の育成・確保に努めます。
- ③ 関係機関と連携し、新規就農者の確保対策を進めるとともに、女性や高齢者の経営参画や就農環境の向上に向けた支援を行います。

^{※15} 経営規模を縮小する農家から農地を借り受け、経営規模を拡大する農家にまとまった農地を貸し付ける組織。

③ 農産物の生産性の向上とブランド化、特產品開発の促進

- ①合理的な作付体系や効率的な生産技術の確立、技術革新を利活用したスマート農業^{*16}を促進するほか、生産者自らがGAP^{*17}の考え方を実践できるよう指導し、野菜、米、畜産をはじめ各作目の生産性・安全性の向上や一層のブランド化を促進します。
- ②地域特性や消費者ニーズに即した新品種の導入・産地化を促進します。
- ③農業の6次産業化^{*18}を進めるため、推進組織等への支援を積極的に行い、既存加工食品・郷土料理等の生産拡大・ブランド化、新たな加工食品・特產品を活用した料理等の開発を促進します。

④ 食の安全・安心と環境に配慮した農業の促進

食の安全・安心と消費者の信頼の確保、環境保全に向け、農業関連廃棄物の適正処理・リサイクル、農薬の適正使用等を促進します。

⑤ 地産地消の促進

道の駅「ろくのへ」において、各種イベントやPR活動等を展開し、農産物販売体制の一層の充実を進めるほか、学校給食への地場農産物の提供体制の充実や地場農産物を使った料理講習会の開催等により消費を促し、地産地消を促進します。

⑥ 全国に向けた消費拡大運動の展開

様々な情報媒体を活用し、全国に向けた農産物のPR活動の展開に努めるとともに、大消費地における出展活動やイベントの展開等を促し、町外における消費の拡大を促進します。

⑦ 適正な森林整備の促進

- ①森林所有者の合意形成を図り、森林組合を中心とする施業主体とともに合理的な森林整備が行える体制の整備を進めます。
- ②森林の有する諸機能を發揮させるため、森林経営管理制度や森林環境譲与税等を活用しながら、森林整備計画に基づく森林の機能分類に沿った森林施業を促進します。

^{*16} ロボット技術やICTを活用し、省力化・精密化や高品質生産等を実現することを推進している新たな農業のこと。

^{*17} 農業生産活動を行う上で、最低限守るべきルールを遵守し、各農作業に潜む様々なリスクを低減していくための生産工程の管理や改善を行う継続的な取り組み。

^{*18} 第1次産業が、生産だけにとどまらず、加工品の製造・販売やサービスの提供など、第2次産業や第3次まで踏み込むこと。

数値目標

指標名	単位	令和元年度(実績)	令和7年度(目標)
認定農業者数	人	276	286
人・農地プランの中心経営体数	経営体	253	260
新規就農者数	人	14	15
荒廃農地・遊休農地面積	ha	7.9	5.0
農業振興の状況に関する町民の満足度	%	25.9	27.0

注) 町民の満足度は、町民アンケート調査で「満足」と「どちらかといえば満足」と回答した町民の割合。



農業展

2. 商工業

現状と課題

商業は、豊かな消費生活の提供はもとより、まちのにぎわいや人々の交流を生み出すものとして、まちづくりにおいて重要な位置を占めていますが、全国的に既存商店街の衰退が深刻化しており、その対策が大きな課題となっています。

本町の商業活動は、犬落瀬地区を中心に展開されていますが、周辺への大型店の進出やコンビニエンスストアの増加等により購買力の流出が続き、経営者の高齢化や後継者不足とも相まって、廃業する店舗が増加するなど、取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

今後は、このような状況を踏まえ、商工会と連携し、時代変化に即した商業活動の展開を促進していくとともに、新たな商業基盤の整備について検討していく必要があります。

一方、工業は、地域活力の向上や雇用の場の確保に直結する重要な産業です。

本町の工業は、古くからの地場産業と金矢工業団地への誘致企業で構成されていますが、地方産業・経済が停滞する中で、既存の中小企業を取り巻く環境は厳しさを増しているほか、金矢工業団地への企業誘致についても、平成26年度に1社、平成30年度に1社が新たに立地したものの、用地の過半数が空いており、その対策が求められています。

このため、今後は、県や商工会と連携し、既存企業の経営の安定化を支援していくとともに、金矢工業団地の環境整備のもと、企業誘致活動を積極的に展開し、新たな企業の立地を促進していく必要があります。

主要施策

① 商工会の育成

商工会の運営を支援し、金融・財務・労働・情報等を中心としたきめ細かい継続的な経営支援、多岐にわたる専門家を活用した専門性の高い経営支援など、創業支援や若手後継者の育成等に向けた活動を促進します。

② 時代変化に対応した商工業経営の促進

- ①商工会と連携し、近代的な経営への転換を促していくとともに、地元事業所ならではの地域に密着した商品・サービスの提供、イベントの実施、PR活動の展開等を促進します。
- ②厳しい経営環境を踏まえ、県と連携した融資制度の周知と活用促進に努め、経営の安定化を促します。

③ 新たな商業基盤の整備検討

新たな商業・集客空間の創出に向け、道の駅「ろくのへ」周辺の整備など、商業基盤の整備について検討していきます。

④ 企業誘致の推進

金矢工業団地について、県等関係機関と連携し、アクセス道路の整備など企業ニーズに即した環境整備、優遇措置の見直し等を検討しながら、企業誘致活動を積極的に展開し、新規企業の立地を促進します。

数値目標

指標名	単位	令和元年度(実績)	令和7年度(目標)
商業環境に関する町民の満足度	%	8.9	9.1
工業振興・企業誘致の状況に関する町民の満足度	%	10.8	11.0

注) 町民の満足度は、町民アンケート調査で「満足」と「どちらかといえば満足」と回答した町民の割合。

3. 観光・交流

現状と課題

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の観光業は甚大な打撃を受けており、観光事業者はかつてないほどの窮地に立たされています。国内外の人の流れは戻りつつあるものの、観光事業者の再建は未だ予断を許さない状況です。人の移動が大幅に制限され、社会のあり様が大きく変容する中で、観光振興には、こうした動向に対応した戦略的な取り組みや発想の転換が求められています。

本町は、奥入瀬川に代表される水と緑の豊かな自然に囲まれていますが、史跡や景勝地などの目立った観光資源は見当たりません。観光客などが町を訪れるのは、道の駅「ろくのへ」、館野公園、温泉施設、ゴルフ場、場外車券販売所と、六戸秋まつりやメイプルタウンフェスタといった祭り・イベントに限られています。また、本町だけで飼育される地鶏「青森シャモロック ザ・プレミアム #6」や品質評価の高い根菜類など、食の交流を創出する潜在力を秘めた食資源があるものの、プロモーション体制が十分でなく、その魅力を引き出し伝えきれていない状況です。

しかし、今後、生活スタイルや人々の意識が大きく変化していくことが見込まれることから、本町の「観光地形成」の好機であるともいえます。都市から地方回帰への気運は一層高まり、これに応じて人の流れも変わっていくことが予想されます。

既存イベントのアレンジや、館野公園の活用、体験プログラムの開発や食イベントの実施など、ユニークな観光施策へ積極的にチャレンジできるまたとないチャンスととらえ、一致団結して協働で観光資源を掘り起こし磨き上げ、「六戸ブランド」の新規構築と、差別化ではなく「優越化」を進めていく必要があります。

主要施策

① 観光協会の育成

観光協会の運営を支援し、観光振興に向けた各種活動の一層の活発化を促進します。特に、観光振興を図るイベントのアレンジや新規創出、これを担う人財の巻き込みと発掘に取り組みます。

② 観光拠点と体制の整備

- ①道の駅「ろくのへ」を本町の観光拠点と位置づけ、役割の強化に向けた体制整備と情報発信、販売力の強化に努めます。
- ②首都圏に本町のサテライト店を設置し、大消費地向けの情報発信の強化に努めます。

③ 物産の振興

- ①「青森シャモロック ザ・プレミアム #6」や品質評価の高い根菜類などを中心に営業・販売を強化します。
- ②新商品の開発に取り組むとともに、催事やイベント等で積極的な売り込みを行います。

④ 観光の振興

- ①町への観光客誘致イベントを新規に企画するとともに、町内飲食店において、本町ならではの「食」の提供を実現し、「食」をテーマとした観光・交流事業の創出を図ります。
- ②観光振興に町伝統芸能を組み入れ、活躍・活動の場の創出を図ります。

⑤ 交流人口の拡大

上記イベントを町内や町外で実施することにより、本町を訪れた観光客や催事先で関わった人々、イベント関係者などとの交流の機会を拡大させます。

数値目標

指標名	単位	令和元年度(実績)	令和7年度(目標)
道の駅ろくのへ利用客数	人	120,000	120,000
メイプルタウンフェスタ来場者数	人	23,000	23,000
秋まつり来場者数	人	22,000	22,000
六興祭来場者数	人	8,000	8,000
町外催事の実施回数	回	4	6
イベント及び催事集客数(合計)	人	163,800	200,000
観光振興の状況に関する町民の満足度	%	9.2	12.0

注) 町民の満足度は、町民アンケート調査で「満足」と「どちらかといえば満足」と回答した町民の割合。



県外での物産販売会 (千葉駅)

4. 雇用対策

現状と課題

新型コロナウイルス感染症の影響等による世界的な景気の悪化により、わが国においても、求人頭数が大きく減少するなど雇用をめぐる環境は厳しい状況にあります。

青森県においても、産業・経済が停滞傾向にある中で、雇用情勢は非常に厳しく、今後もこうした状況が続くことが予想されます。

このような中、本町においても、関係機関と連携し、雇用機会の確保や雇用の促進に向けた取り組みを進めていく必要があります。

また、就業者が安全・快適でゆとりある勤労生活を送ることができるよう、事業所等に対し、労働条件の向上などに関する各種制度の周知等を進めていく必要があります。

主要施策

① 雇用機会の確保と雇用の促進

- ①若者の地元就職やU・J・Iターン^{*19}を促進するため、県やハローワーク、三沢地区雇用対策協議会等の関係機関と連携し、就職に関する情報提供や説明会・セミナー等の開催、地元事業所への積極的・継続的な働きかけ等を行います。
- ②JA等と連携し、求職者と人手不足に悩む農業経営体を仲介するマッチング体制を強化していきます。

② 勤労者福祉の充実

労働条件の向上や安全に働く環境づくりに向けた事業所への各種制度の周知や啓発等に努めます。

数値目標

指標名	単位	令和元年度(実績)	令和7年度(目標)
雇用・就労環境に関する町民の満足度	%	7.5	7.9

注) 町民の満足度は、町民アンケート調査で「満足」と「どちらかといえば満足」と回答した町民の割合。

*19 Uターンは出身地から地域外へ出た後に出身地へ戻ること。Jターンは出身地から地域外へ出た後に出身地以外の近隣地へ戻ること。Iターンは出身地にかかわらず住みたい地域へ移り住むこと。